

福祉教育における逗子市社会福祉協議会と連携した授業について

学校名	逗子市立沼間小学校
-----	-----------

学年：4年	単元名（教科）： 「 福祉について考えよう 」 (総合的な学習の時間)
講師等（協力団体・協力者）：逗子市社会福祉協議会	
<p>単元の流れ（概要）</p> <p>○事前の学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入として御講話いただきましたので、事前学習は実施していません。 <p>○本時（11月9日3校時）</p> <p>本時のねらい：「ふだんの 暮らしの しあわせ」を実現するために地域や学校には様々な工夫があることを知る。</p> <p>○事後の学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるユニバーサルデザインの物やバリアフリーについて調べる。 ・学校は様々な人が利用しやすいようにどのような工夫がされているか調べる。（体育館棟の設備と教室のある校舎を比較して学習しました。また、前期の総合（防災）で災害発生時に避難所になることや、学校開放等で地域の人が訪問すること等とつなげて学習しました。） ・校舎等にどのような設備があればよいか考える。 ・「こまっている人はいないかな？」（『人権学習ワークシート集 第15集（小・中学校編）』） ・「いろいろな人の感じ方や気持ちを理解しよう（感覚の過敏）」（『人権学習ワークシート集 第16集（小・中学校編）』） 	
<p>先生の感想・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習前に逗子市社会福祉協議会の皆様と単元の学習の流れが相談できてよかった。前期に学習した防災と福祉との関連について助言いただき、つながりを意識しながら単元計画を検討することができた。 ・「福祉」の言葉を初めて聞く児童が多く、単元の導入で逗子市社会福祉協議会の皆様にわかりやすく説明していただきよかった。 	